

Biz Box HUB「S724EP」  
ファームウェアリリースノート  
Version 1.2.6

Version 1.2.6

以下のとおり機能追加・機能改善が行われました。

## 1. 本バージョンで追加された項目

(1) シングルポートループバック検出機能を追加しました。

### [説明]

シングルポートループバックは、ループ検出設定ポートから検出パケットを送出し、そのポート自身に検出パケットが戻ってきた場合、SNMP トラップメッセージの送信および通信のブロックなど、設定された対処法を行うことによりループを防止する機能です。

### [設定手順]

操作	コマンド
system viewに移行	system-view
グローバルにループバック検出を有効化	loopback-detection enable
ポートループバック検出の間隔を設定	loopback-detection interval-time <i>time</i>
Ethernet interface viewに移行	interface <i>interface-type interface-number</i>
ポートのループバック検出機能を有効化	loopback-detection enable
ループバック検出の保護アクションを設定	loopback-detection action { block   shutdown }
保護アクションに従ったポート制御を有効化	loopback-detection control enable
トランクポートまたはハイブリッドポートで VLAN単位のループバック検出機能を有効化	loopback-detection per-vlan enable

(2) マルチポートループバック検出機能を追加しました。

### [説明]

マルチポートループバックは、ループ検出設定ポートから検出パケットを送出し、装置の別のポートに検出パケットが戻ってきた場合、SNMP トラップメッセージの送信および通信のブロックなど、設定された対処法を行うことによりループを防止する機能です。

### [設定手順]

マルチポートループバック検出を行うためには、最初にシングルポートループバック検出を有効にした後、下記の設定を実施する必要があります。

操作	コマンド
system viewに移行	system-view
マルチポートループバック検出を有効化	loopback-detection multi-port-mode enable

( 3 ) display loopback-detection コマンドによる状態表示機能を追加しました。

[説明]

display loopback-detection コマンドは、ポートの loopback detection 状態を表示します。

## 2 . 本バージョンで機能改善された項目

- ( 1 ) VLAN 設定数を 1 2 8、各 VLAN に全 2 4 ポートが所属するような大規模なネットワークの設定を行った場合、Web インターフェースよりアクセスすると、Web 画面表示用の装置内メモリが不足し、S724EP の再起動が発生する現象について改善しました。

以上